



「乱歩都市交流会議」設立趣意書

『怪人二十面相』『パノラマ島奇談』『黒蜥蜴』などの作品を遺した江戸川乱歩は、日本における探偵・推理小説の礎を築いた作家です。

乱歩は明治27年(西暦1894年)10月に名張市で生まれ、翌年6月に亀山に転居した後、大正6年(西暦1917年)11月から大正8年(西暦1919)1月までの間、鳥羽造船所に勤務し、その間に知り合った坂手島出身の村山隆子と大正8年(西暦1919年)に結婚しました。また、その生家である「平井家」の菩提が津市内の寺院に現存しているなど、三重県と深い繋がりのある人物でもあります。

本日、江戸川乱歩と関わりのある三重県内の都市が連携して、江戸川乱歩の偉業を後世に伝えるとともに、江戸川乱歩を通じた地域の情報発信に取り組むことを目的として、「乱歩都市交流会議」を設立します。

「乱歩都市交流会議」では、各市で開催されている乱歩に関係のある事業について、相互に情報提供を行うとともに、交流を通して県内における文化力の向上に繋げることにより、観光・文化面への波及効果を目指します。

平成20年10月31日
乱歩都市交流会議

(立会人)
三重県知事

聖名昭彦

江戸川乱歩遺族

平井徳太郎

(発起人)
津市長

松田直之

亀山市長

田中亮介

鳥羽市長

木田久一

名張市長

亀井利克